

新入社員企画 SDGs プロジェクト中間報告

－募金箱製作過程及び完成報告－

調達グループ

久田美奈子

2021年度 新入社員による SDGs プロジェクトの第2弾として、【まるさだ募金】活動を企画立案致しましたので報告致します。

1. 【まるさだ募金】とは

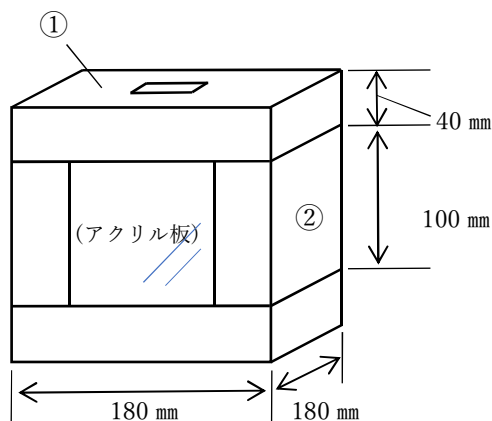
SDGs プロジェクトの第1弾のベンチと同様に、瀧上工業で伐採された樹木を再生利用して、募金箱を製作致しました。

募金箱を瀧上工業の各主要点に設置し募金活動を行うことを目的とし、その活動を【まるさだ募金】とネーミング致しました。今回の募金活動で集まった寄付金は、半田市の福祉協会へ寄付する予定です。

2. SDGs の目標達成

伐採した廃棄予定の樹木を再利用(リサイクル)することで持続可能なものへと再生致しました。また、半田市福祉協会へ寄付をすることで昨今のコロナ禍で支援を必要とする方々に、少しでも平等な健康・福祉を届けるという点で SDGs の目標達成を試みます。

3. 設計について



寸法：

	幅(mm)	板厚(mm)	長さ(mm)
①	180	40	180
②	100	40	180
アクリル板	100	—	100
(アクリル裏木材)	(100)	(40)	(100)

※計3ヶ製作

寸法については上記の通りで、木板をI型状に組立て、表面は投入されたお金が見えるようにアクリル板を、同サイズの裏面は木板で埋める形で組立てることとしました。

当初は40mmの板厚の木板を木材加工会社に製材を依頼する予定でしたが、諸事情により製材依頼が困難となった為、そのままの板厚で募金箱を製作することになりました。

4. 作業上の注意点等

こまめに水分補給・休憩時間を設けるなどして十分に熱中症対策しつつ、電動工具(刃物)など

を使用する際は、先輩社員の監督の下、怪我のないよう安全を確保しながら作業致しました。

5. 作業日程・手順

6月7日(月)、24日(木)、7月2日(金)の業務時間内・外に渡り、募金箱製作を行いました。主な作業手順は以下の通りです。

① 野書



⑤ 仮組立 インパクトを使用しビス仮留。



② 切断



⑥ アクリル板・溝切断



③ やすり掛け



アクリル板を上からはめ込めるよう溝切断。



④ 塗装 塗料・ニス塗り後乾燥させる。



⑦ 蝶番取り付け・投入口穴あけ 電動ドリルで数ヶ所穴開け→糸鋸で拡張。



- ⑨ 組立 ビス本打ち。
- ⑩ 隙間等の補修 木板の元々の形状や組立時による隙間を薄板やコーキングで補修。
- ⑪ 南京錠の取り付け

6. 完成品



7. 反省点・おわりに

反省点として、一から全て手作りであり不格好な箇所が少々目立つ点、作業人数・時間の確保に苦戦した為、製作に日数・時間がかかってしまった点等ありますが、初心者なりに新入社員一同で試行錯誤し完成させることができました。今後募金活動へ移ることになりますが、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

